

瓦屋根補修事例と補修方法 ～スーパーブルーシートW～

田島ルーフィング株式会社

部分損壊した屋根の応急補修方法としてブルーシートを用いる方法が一般的ですが、ブルーシート自体は耐久性に限りがあるため、数か月程度で貼り替えが必要となります。

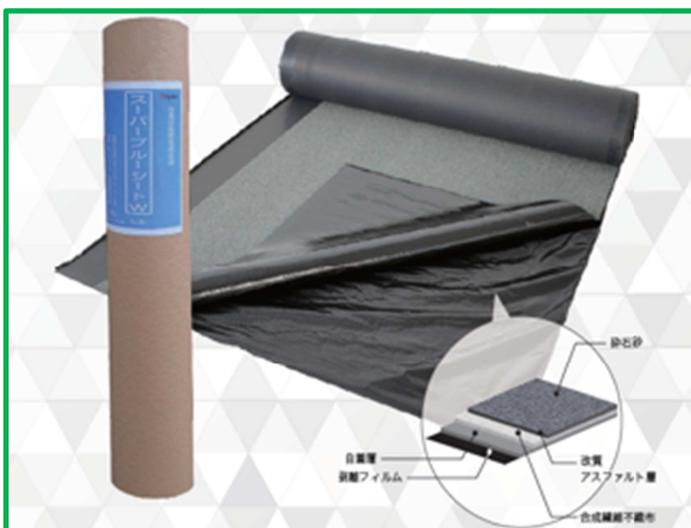
このようなとき、耐久性の高い「スーパーブルーシートW」を用いる補修方法があります。本復旧まで半年以上の期間が掛かる、あるいは見通しが立たないような場合に、たいへん有効な方法です。

補修事例③

協力・写真提供：一般社団法人 全国木造建設事業協会 千葉県協会



◆使用材料



②副資材「GCライン」

320 ccカートリッジ×10本
特殊変性シリコン系シーリング材。
コーキングガンを用いて塗工します。
シート端部の止水性向上のほか、
シートどうしの接合(貼り重ね)にも使用します。



850 ccカートリッジ×10本のジャンボもあります。

③副資材「エンシンシート」

0.45m×8m 約8kg
伸びるためシート小口の隙間をなくします。

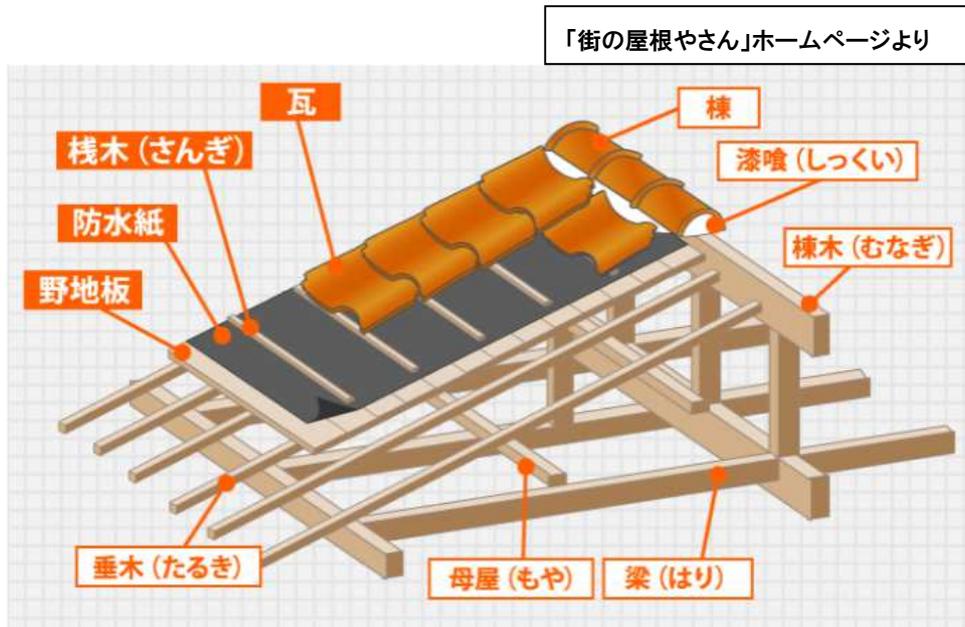


裏紙を剥がし、粘着面を屋根にある程度貼ります。
表紙を剥がし、ゆっくりと伸ばし段差に馴染ませます。

◆作業手順例

下地づくり編

瓦の下には下ノイメージ図のように棧木(瓦をひっかけるための木材)が一定間隔で取り付けられています。



この棧木がむき出しになっている状態だと、スーパーブルーシートWの貼り付けが難しいため、下写真のように新しい棧木の設置および合板の取り付けを行います。

※下地づくりは慣れ・経験が必要なため、作業者のうち一人以上は実務者または経験者がいると良いです。



①棧木の取り付けは、木ネジで電動ドライバーを使います。
棧木および木ネジはホームセンターなどで購入します。
棧木の取り付けまえに周辺の破損した屋根材を撤去しておきます。



②その後、棧木に合板を取り付けます。
写真はエアネイルを使用していますが、棧木同様に木ネジ・電動ドライバーでも取り付けできます。
合板もホームセンターなどで購入します。
合板は一般に12mm以上のものを使用します。

作業詳細については田島ルーフィング株式会社
フリーダイヤルTEL0120-450-099
防水技術お問い合わせ窓口までお願いいたします。

◆作業手順例

スーパーブルーシート貼り付け編



①裏紙を剥がす前に、スーパーブルーシートWを
損壊部分に仮当てして貼り付ける位置を調整しま
す。**安全対策は十分に！！ 2人作業推奨！！**



②長く貼るとき(2m程度以上)は、写真のように
一度巻き戻して貼ると位置がずれにくくなります。



③位置がずれないように注意しながら、裏紙をすべ
らすようなイメージで剥がしていきます。



④上から手で良く圧着させます。
瓦段差部分に隙間ができる場合は、適宜カットし
て出来るだけなじませます。

※シートどうしの接続(貼り重ね)方法 ~その1~



(1)シートは、1m幅の 10cmが「貼り重ねしろ」に
なっています。
この部分に次のシートを貼り重ねます。



(2)シートの重ねは雨水の流れに逆らわないよう
に、下のシートが下になるようにします。

※シートどうしの接続(貼り重ね)方法 ~その2~



(1)重ねしろでない部分でシートを重ねる場合は、重ねる部分にGCラインをたっぷり塗布します。(幅10cm×1mで320ccカートリッジの1/3程度)



(2)ヘラなどで上写真のようになります。このあと、GCラインが固まるまえに、上に貼るシートでGCラインを押し出すように貼り重ねます。

※シート端部の処理方法



(1)シートの端部はGCラインで処理します。(320ccカートリッジ1本で8m程度が目安です)



(2)ヘラなどで上写真のようになります。

※段差が大きい場合の対応例



(1)エンシンシートの半分を瓦に、半分をスーパーブルーシートに貼ります。ある程度圧着させたあとに表紙を剥がします。



(2) エンシンシートを伸ばして段差に馴染ませていきます。ゆっくりとやさしく伸ばして下さい。